

「教育総合データベース構築・運用設計業務」指名型プロポーザル方式業者選定に係る評価項目一覧

No	大項目	中項目	評価項目	基礎点	加点	評価の目安・着眼点
1	全体設計・技術提案	システムアーキテクチャ	全体設計の妥当性	2	5	【基礎】基本的なシステム構成が示されているか。ユースケースの設定・運用設計の方針は妥当か。 【加点】スケーラビリティ、可用性、セキュリティを考慮した設計か／マイクロサービス等の適切なアーキテクチャパターンが採用されているか
2			メンテナンス性・保守負担軽減	2	7	【基礎】運用開始後の保守を見据えた設計方針が示されているか。 【加点】ロード/ノード開発の活用提案があるか／マネージドサービス活用により運用負荷を軽減する設計か／システム管理者による自律的な運用が可能な構成か
3			拡張性・将来対応	2	4	【基礎】将来的な機能追加やデータ増加に対応可能な設計が見込める提案となっているか。 【加点】新たなデータソース追加の容易さ／他システム連携の柔軟性／段階的な機能拡張の方法論が示されているか
4		機能提案	アイデンティティ（アカウント・グループ）管理機能	2	4	【基礎】仕様書の要件を満たす基本機能が提案されているか 【加点】年度更新処理の自動化レベル／異動・転出入対応の柔軟性／運用負荷軽減の工夫／運用のイメージが示されているか
5			児童生徒CRM機能	2	5	【基礎】気泡記録、タイムライン表示等の基本機能が提案されているか 【加点】教職員の入力負担軽減の工夫／情報共有・引継ぎの効率化／UIの使いやすさ・直感性
6			データ連携・分析基盤・ダッシュボード	2	4	【基礎】BigQuery/Looker Studio等を活用した基本的な分析機能が提案されているか／データパイプラインの整備について適切な設計となっているか 【加点】教職員が自らレポートを作成できる環境／分析の多角性・柔軟性／リアルタイム性の確保
7		技術的工夫	要望のシステム反映方法論	2	2	【基礎】学校現場・教育委員会の要望を把握する方法が示されているか 【加点】要望収集から実装までの具体的なプロセス／アジャイル的なフィードバックサイクル／優先順位付けの考え方
8			独自の付加価値提案	0	3	【加点のみ】仕様書に記載のない創意工夫ある提案があるか 例：生成AI活用、音声入力、モバイル対応強化、データ可視化の工夫、教員間コラボレーション機能等
【小計】企画提案				14	34	
9	UI/UX ユーザビリティ	操作性	教職員向けUIの使いやすさ	2	4	【基礎】教職員が直感的に操作できる画面設計となるような提案となっているか。 【加点】入力の手間を削減する工夫／モバイル・タブレット対応／アクセシビリティへの配慮
10			データ可視化・分析結果の分かりやすさ	1	3	【基礎】ダッシュボード・レポートが分かりやすく設計されるような提案となっているか 【加点】多忙な教職員が一目で状況把握できる工夫／ドリルダウン等の分析機能
【小計】UI/UX				3	7	
11	事業実施計画	スケジュール	全体工程の妥当性	2	3	【基礎】令和8年9月以降の順次稼働に向けた現実的なスケジュールが組まれているか 【加点】マイルストーンが明確か／バッファの確保／リスクを考慮した計画か
12			段階的稼働計画	2	3	【基礎】機能ごとの段階的リリース計画が示されているか 【加点】優先順位の考え方が妥当か／学校現場への影響を考慮した展開計画か
13		リスク管理	リスク対応・柔軟性	1	2	【基礎】想定されるリスクと対応策が示されているか 【加点】スケジュール遅延時の対応策／仕様変更への柔軟な対応体制
【小計】事業実施計画				5	8	
14	実施体制・実績	組織体制	業務遂行体制	2	2	【基礎】業務を遂行可能な体制・人員が確保されているか／役割分担が明確か 【加点】本市専任の担当者配置／迅速な対応が可能な体制
15			技術者の資格・スキル	2	2	【基礎】Google Cloud認定資格保持者または同等のスキルを持つ者が含まれているか 【加点】複数の有資格者／教育分野の知見を持つ者の参画
16		実績	類似案件の実績	2	3	【基礎】Google Cloud上やAzure上でのシステム構築実績があるか 【加点】教育分野での実績／自治体向けシステムの実績／データ分析基盤構築の実績
【小計】実施体制・実績				6	7	
17	技術移転・研修	研修計画	利用者向け研修	1	2	【基礎】教職員・管理者への研修計画が示されているか 【加点】研修内容の充実度／継続的なサポート体制／eラーニング等の工夫
18			技術移転・ドキュメント	1	2	【基礎】運用マニュアル等のドキュメント整備計画があるか 【加点】システム管理者が自律的に運用・改善できるための技術移転計画
【小計】技術移転・研修				2	4	
19	コスト	ランニングコスト	運用コストの見通し	0	10	【加点のみ】令和9年度以降のライセンス費用やクラウド利用料、運用保守に係る工数・人件費の見通しがコスト最適なものとなっているか
【小計】コスト				0	10	
【合計】				30	70	

【配点構成】

大項目	基礎点	加点	計
全体設計・技術提案	14	34	48
UI/UX・ユーザビリティ	3	7	10
事業実施計画	5	8	13
実施体制・実績	6	7	13
技術移転・研修	2	4	6
コスト	0	10	10
合計	30	70	100

【注記】

- 基礎点：仕様書の要件を満たす最低限の提案に対して付与
- 加点：創意工夫、付加価値のある提案に対して付与
- 最低基準：基礎点合計（30点）の70%以上（21点以上）かつ各大項目で基礎点の50%以上を獲得すること
- 参考見積価格は評価対象外（ただし支出限度額超過の場合は無効）